

科目番号		54016	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年	
科目名	自立支援教育特論演習Ⅰ (Practice of Advanced Course in Health Education for Disease PreventionⅠ)							1	
								配当セクター	
								前期	
担当者	○駒田 真由子 他2名			区分	必修	単位	2	時間数	60
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概要・目標】 地域住民を対象とした自立支援イベントでの健康教育等の実践を通して、地域住民のヘルスリテラシーを高め、地域のソーシャル・キャピタルを高めるためのアプローチについて実践的に理解を深める。							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
							○	2.地域住民の自立を支える統合的支援能力	
								3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
								4.政策や保健事業を開発する能力	
								5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力	
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	自立支援教育特論演習の位置づけ・オリエンテーション							駒田 他2名	
第2回 第3回	健康教育企画書の作成方法・実施の方法								
第4回 ～ 第14回	地域住民への対面イベント参加による健康教育の実施 健康教育の目標設定、指導案、媒体等の作成と打ち合わせ、評価方法の検討								
第15回	健康教育の実践（模擬）								
第16回 ～ 第18回	健康教育の実施								
第19回 ～ 第21回	健康教育の評価と改善								
第22回 ～ 第30回	母子保健法に関連する健診事業 企画書・プログラム案の作成・実施 演習① 3・4か月健診 演習② 1歳6か月健診 演習③ 3歳児健診								
事前・事後学習	事前学習：健康教育論のテキストをよく読んでおくこと。 事後学習：資料を再読すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	参加状況（30%）・健康教育計画書・健康教育制作物（40%）、その他提出物（30%）で評価する。フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	鈴木淳子 調査的面接の技法 第2版 ナカニシヤ出版								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								